

# 電気こんろ（スイッチのつまみが飛び出した構造のもの） による火災事故防止について

平成20年11月19日  
独立行政法人製品評価技術基盤機構

## 1. 経緯

昨日、経済産業省より、身体又は荷物が「電気こんろ」のつまみに触れてスイッチが入り、こんろの上に置かれていた卓上IHヒーターが焦げたとの製品起因が疑われる重大製品事故の情報が公表されました。

独立行政法人製品評価技術基盤機構（略称：NITE）は、製品事故の情報を収集し、その原因究明・調査を行い、事故の再発防止・未然防止のための提言や注意喚起を行っている機関です。

（詳細はNITEホームページをご覧ください。<http://www.nite.go.jp/>）

NITEに寄せられた「電気こんろ」のつまみによる事故情報件数は、平成10年度から平成20年度（11月18日時点）までの11年間で167件（重大製品事故含む）で、身体や荷物がつまみに触れ、スイッチが入ってしまうものについては、各事業者においてつまみの無償改修を行っていますが、未だに事故が発生し続けています。

NITEでは、これまでも同種事故の再発を防止するため、事故情報の公表や事故情報特記ニュースの発行（平成17年1月13日付け）、身・守りハンドブック（[http://www.nite.go.jp/jiko/handbook/goshiyou\\_handbook.html#shohisha](http://www.nite.go.jp/jiko/handbook/goshiyou_handbook.html#shohisha)）の配布などにより消費者の安全確保に努めてきましたが、この度の事故の発生を受け、改めて注意喚起のためにプレスリリースを行うことにしました。

## 2. 事故の傾向等

### (1) これまでの事故事例

#### （事例1）

事故発生日：平成18年9月12日

事故発生場所：東京都

被害程度：軽傷

事故内容：「電気こんろ」周辺の可燃物が燃え、「電気こんろ」上部に置かれたカセットこんろのガスボンベが爆発し、「電気こんろ」周辺と台所天井が焼損し、家人1人が煙を吸い病院に搬送された。

事故原因：「電気こんろ」前の通路が荷物で狭くなっており、被害者が入室する際、知らぬ間に「電気こんろ」のつまみに身体の一部、もしくは荷物が触れてスイッチが入り、「電気こんろ」の上に置かれたカセットガスこんろのガスボンベが加熱され、爆発したものと推定される。

(事例2)

事故発生日：平成19年4月8日

事故発生場所：岐阜県

被害程度：火災（軽傷）

事故内容：「電気こんろ」の上に置いていたカセット式卓上こんろのガスボンベが破裂し、天井が少し持ち上がった状態になり、近くにあった樹脂製のまな板の一部が溶けていた。また、家人が手に軽い火傷を負った。

事故原因：事故原因は、当該製品の近くに段ボールが置かれており、段ボールの角がスイッチつまみに接触し、電源が入ったものと推測される。

(事例3)

事故発生日：平成19年5月27日

事故発生場所：東京都

被害程度：火災

事故内容：家人が留守中に出火し、室内を全焼した。こんろ周辺がよく燃えており、家人の証言によると、外出の際、荷物がスイッチ周辺部に当たったとの記憶があることから、その時にスイッチが入ってしまったものと推定される。

事故原因：事故原因は、身体や荷物等が当該製品のつまみに触れてスイッチが入ったと推測される。

(事例4)

事故発生日：平成19年5月31日

事故発生場所：神奈川県

被害程度：火災

事故内容：家人が帰宅し、「電気こんろ」の前を通過して就寝した。翌朝4時頃、警報により目が覚めた時、「電気こんろ」の横に立てかけていた樹脂製まな板が燃え、換気扇と壁が焦げた。

事故原因：事故の原因は、家人が「電気こんろ」の前を通過した際に、「電気こんろ」のスイッチ部に接触してスイッチが動きONの状態になってしまったためと思われる。

(事例5)

事故発生日：平成20年3月12日

事故発生場所：岐阜県

被害程度：火災

事故内容：当該機器の上に乗せていた段ボール箱から発煙しているのを発見し、消火した。

事故原因：事故原因は、身体又は荷物が当該製品のつまみに触れてスイッチが入り、火災に至ったものと思われる。

## (2) 事故発生の傾向

### ① 「電気こんろ」のつまみによる事故情報件数の推移について（別添1参照）

「電気こんろ」のつまみによる事故の情報は平成10年度に1件であったが、年々、増加傾向にあり、平成19年度は43件の事故情報が寄せられており、過去最多の件数となった。

### ② 「電気こんろ」の事故発生月について（別添2参照）

「電気こんろ」のつまみによる事故の情報は、4～7月に多く、2～3月は少なくなる。特に3月に事故が少なくなるのは引っ越しによって「電気こんろ」が設置された住宅から転居することで住居者が少なくなることが要因と考えられる。

### ③ 「電気こんろ」の事故発生地について（別添3参照）

「電気こんろ」のつまみによる事故の発生地は、特に東京都（77件）、神奈川県（24件）が多く、京都府（10件）、愛知県（8件）、福岡県（7件）、広島県（7件）と続く。

## 3. 事故防止のために

### (1) N I T Eからのお願い

N I T Eでも、事故の再発防止のため、事故情報特記ニュースの発行や身・守りハンドブックの配布、更にはポスターを作成し、各消費生活センター等主催の展示会などにおいて、注意喚起を行ってきたところですが、再び、重大製品事故が発生しました。また、「電気こんろ」の事故が一向に減少する気配がありません。

N I T Eでは、同種事故の再発を防止するため、スイッチのつまみが飛び出した構造を有する「電気こんろ」について改めて注意喚起を行うことにしました。

電気こんろは大半のものがワンルームマンション等のミニキッチンのシンク横にビルトインされた形で設置されており、日常使用されていなかったケースがほとんどです。居住者は電気こんろの上にカセットこんろを置いて使用したり、合成樹脂製の台所用品や雑誌等の可燃物を置いていたところ、電気こんろの側を通った際に気付かないうちに、電気こんろの飛び出したスイッチのつまみに、身体や持っていたバック等が当たった程度で電源が入ってしまい、被害に遭っています。

「電気こんろ」の使用については、火災事故防止の観点から次の注意事項を守るようお願いします。

- ① 「電気こんろ」の上でカセットこんろや他の電気製品を使用しないでください。
- ② 「電気こんろ」の上や周囲に台所用品・新聞・雑誌などの可燃物を置かないでください。

(2) 「電気こんろ」のスイッチの無償交換について

平成2年より、「電気こんろ」のつまみは不用意な操作ができない構造とするように改められています。

スイッチのつまみが飛び出した構造を有する「電気こんろ」による火災事故防止については、製造メーカーが小形キッチンユニット用電気こんろ協議会を設置し、社告・リコールを行い、改修を行っております。

「電気こんろ」のスイッチのつまみが飛び出した構造のものについては、次のとおり無償でスイッチ操作部を交換しています。お使いの「電気こんろ」を確認していただき、該当する場合には、小形キッチンユニット用電気こんろ協議会（電話0120-355-915）に連絡して下さい。

# 電気こんろのつまみ部改修前後の関係

改修前



回収後



